

～NER156M585B-MDDモジュール専用モデル/積雪60cm以下仕様対象～

本取扱説明書の対象型式：NER156-EPORT-□□□-□□□/NER156-EPORT-□□□-□□-PPA

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良くご理解したうえで、本書の内容（指示）をお守り頂き取扱をお願いします。

※太陽光発電システムの取扱いおよび保証については、  
設置されたシステムメーカーの取扱い説明書並びに保証書をご確認ください。

安全に関する記号	記号の意味
<b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
<b>ご注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、又は物的損害のおそれのある内容を示しています。
<b>お願い</b>	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

※製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

## 1 安全のために必ず守ってください

### 警告

- 降雪時には雪おろしが必要です。屋根が雪の重さでつぶれ落ちてケガをするおそれがあります。40cmを超えないうちに雪をおろしてください。  
※積雪量は、積雪1cmあたり2kgf/m<sup>2</sup>として設計しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。  
※雪おろしの際、金属製スコップ等を使用するとソーラーパネルや屋根が破損する原因となりますのでプラスチック製スコップやゴム製ベラ等で、静かに行なってください。
- 積雪時・降雪時の落雪にご注意ください。  
ソーラーパネルの下は勢いよく雪が落ちるおそれがあり危険です。
- 製品に直接電線を巻き付けしないでください。漏電により感電するおそれがあります。
- ソーラーパネル・架台、屋根面の上に乗らないでください。また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。
- ソーラーパネル・架台に頭などをぶつけないように注意してください。  
ケガをするおそれがあります。

## 2 ご使用にあたって

### ご注意

- 製品に火を近づけないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ネジ・ボルト・ナット等は絶対にゆるめないでください。
- 年1回程度の定期点検を行ない、ネジ・ボルト類のゆるみを締め直してください。オプションも同様です。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- カーポートは簡易型車庫です。物置、遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的としてみだりに改造、変更はしないでください。
- 車両の入出庫の際に、支柱にぶつけない様にご注意ください。

### お願い

- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- ソーラーパネルの上に落ち葉などが付着した場合、発電量全体の低下につながる可能性がありますので、長期的に付着しているものは、定期的にゴムベラ等で静かに取除いてください。

## 3 お手入れについて

### (1) 本体の清掃

- ①年に2~3回は水洗いをして拭きとってください。
  - a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。
  - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

### お願い

- アルミ材には、中性洗剤を原液のまま使用しないでください。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。材料が変形したり、塗料がはげることがあります。

### (2) 点検とキズの補修

### お願い

- 定期的（年一回程度）にボルトのゆるみを点検し、締め直してください。
- アルミ材表面にあやまってキズをつけた場合は、アルミ用の補修材等で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

### (3) 雨樋部の清掃

### お願い

- 雨樋、たて溝レールにたまった落ち葉やほこりは定期的に取り除いてください。雨水がつまって雨樋や溝レールからあふれるおそれがあります。



～NER156M585B-MDDモジュール専用モデル/積雪99cm以下仕様対象～

本取扱説明書の対象型式：NER156-EPORT-□□□99-□□/NER156-EPORT-□□□99-□□-PPA

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良くご理解したうえで、本書の内容（指示）をお守り頂き取扱をお願いします。

※太陽光発電システムの取扱いおよび保証については、  
設置されたシステムメーカーの取扱い説明書並びに保証書をご確認ください。

安全に関する記号	記号の意味
<b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
<b>ご注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、又は物的損害のおそれのある内容を示しています。
<b>お願い</b>	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

※製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

## 1 安全のために必ず守ってください

### 警告

- 降雪時には雪おろしが必要です。屋根が雪の重さでつぶれ落ちてケガをするおそれがあります。70cmを超えないうちに雪をおろしてください。  
※積雪量は、積雪1cmあたり2kgf/m<sup>2</sup>として設計しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。  
※雪おろしの際、金属製スコップ等を使用するとソーラーパネルや屋根が破損する原因となりますのでプラスチック製スコップやゴム製ベラ等で、静かに行なってください。
- 積雪時・降雪時の落雪にご注意ください。  
ソーラーパネルの下は勢いよく雪が落ちるおそれがあり危険です。
- 製品に直接電線を巻き付けしないでください。漏電により感電するおそれがあります。
- ソーラーパネル・架台、屋根面の上に乗らないでください。また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。
- ソーラーパネル・架台に頭などをぶつけないように注意してください。  
ケガをするおそれがあります。

## 2 ご使用にあたって

### ご注意

- 製品に火を近づけないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ネジ・ボルト・ナット等は絶対にゆるめないでください。
- 年1回程度の定期点検を行ない、ネジ・ボルト類のゆるみを締め直してください。  
オプションも同様です。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- カーポートは簡易型車庫です。物置、遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的としてみだりに改造、変更はしないでください。
- 車両の入出庫の際に、支柱にぶつけない様にご注意ください。

### お願い

- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- ソーラーパネルの上に落ち葉などが付着した場合、発電量全体の低下につながる可能性がありますので、長期的に付着しているものは、定期的にゴムベラ等で静かに取除いてください。

## 3 お手入れについて

### (1) 本体の清掃

- ①年に2～3回は水洗いをして拭きとってください。
  - a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。
  - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

### お願い

- アルミ材には、中性洗剤を原液のままで使用しないでください。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。  
材料が変形したり、塗料がはげることがあります。

### (2) 点検とキズの補修

### お願い

- 定期的（年一回程度）にボルトのゆるみを点検し、締め直してください。
- アルミ材表面にあやまってキズをつけた場合は、アルミ用の補修材等で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

### (3) 雨樋部の清掃

### お願い

- 雨樋、たて溝レールにたまった落ち葉やほこりは定期的に取り除いてください。  
雨水がつまって雨樋や溝レールからあふれるおそれがあります。

## 製品設置条件

以下の条件に基づき設計及び各種試験を行い、製品の設置条件を定めております。

耐風圧	基準風速	38m/ s 以下
積雪	最大積雪荷重	99cm以下
	設計荷重	1cmあたり2kgf/m <sup>2</sup>
対応基礎	コンクリート基礎	
塩害基準	海岸線からの距離300m以上 ※太陽電池モジュールに関しては、海岸線からの距離500m以上	

Memo :

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....